

丸亀での講演の報告

香川県偕行会会長

大西 邦彦 陸自69

令和4年9月11日(日) 13:30~
15:00、市民交流センター「マルタス」
多目的ホールにおいて「丸亀歩兵第
12聯隊の歴史について」講演の機会
を持ちました。



講演は、丸亀市立中央図書館の主
催により「郷土にまつわる歴史講座」
(協力：明治文庫の会)の一環で開
催され、その趣旨は、郷土の歴史に
関連する講座を開催し、生涯学習の
場を提供するというものでした。

講演内容は、明治8年5月歩兵第

12聯隊が郷土丸亀に編成、9月9日、明治天皇より軍旗が親授され、昭和20年8月15日大東亜戦争終結までの70年に亘る輝かしい戦歴についてでした。

聯隊の歴史は、代々陣中日誌として歴代聯隊副官により記録されましたが、幸いなことに、終戦の混乱の中にも焼却されず現存することとなりました。

かつて丸亀に聯隊が存在し、郷土の平和を願う護国の霊とされた多くの御霊の上に、今日の丸亀市の発展があることに思いを寄せていただければ、との思いで歴史の一端を紹介しました。

聴衆は、定員先着50名のところ56名の参加でした。軍隊の歴史に関する講演の設定は今までになく、聴衆の中には年配の女性も多数見受けられ、戦死した肉親の歴史について少しでも知りたいという熱い思いが感じられ、折からロシアのウクライナ侵攻もあり、市民の関心も深かったのではと感じています。

歩兵第12聯隊の歴史については、HP「丸亀護国神社奉賛会」に掲載しています。